

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
9	公益財団法人 NSKメカトロニクス技術高度化財団	2022年度研究助成・教育助成	令和4年11月26日	必要	郵送およびメールにて提出	本財団は日本精工株式会社（NSK）とそのグループ会社の後援で運営されています。日本精工グループは、Motion & Controlをモットーと定め、転がり軸受等の機械要素製品、ボールねじ等の精密機械製品および自動車用電動パワーステアリング等の機械システム製品など、メカトロニクス技術を支える機械製品の製造販売を行っています。 本財団の研究助成事業は、これらの機械製品の進化と深化に資するものだけでなく、質量ある対象を支え、駆動し、制御するというメカトロニクス技術（Motion & Control）の発展に貢献する、基礎的または応用的研究を対象とします。この点を理解のうえ本応募要領に対応する研究テーマを設定し、申請していただければ幸いです。	最大200万円	×	
19	公益財団法人 ちゅうでん教育振興財団	2022年度ちゅうでん教育振興助成	令和4年11月25日	必要	11月11日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手 学内決裁後、郵送にて提出	教育改革、教育課題の解決につながる独創的で特色ある実践や研究、地域社会と連携した取り組み、自然や文化、歴史など多様な分野にわたる教育実践等。	30～100万円	○	
21	公益財団法人 ちゅうでん教育振興財団	第25回ちゅうでん児童文学賞	令和4年8月31日	不要		大賢の部、さくら賞の部	プログラム毎に異なる	×	
23	株式会社リバネス	第57回リバネス研究費	プログラム毎に異なる (令和4年7月31日、 令和4年8月31日)	不要		・鈴茂器工賞 お米に関するあらゆる研究 ・ダスキン開発研究所賞 「衛生環境を整える」あらゆる研究 ・ニッスイ賞 健やかな生活とサステナブルな未来を実現する、新しい“食”を創造する研究 ・吉野家賞 「はたらく」を楽にするあらゆる研究	プログラム毎に異なる	×	

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
27	公益財団法人 旭硝子財団	2023年(2022年度募集)研究助成プログラム	プログラム毎に異なる	必要	各プログラム毎の締め切り二週間前までに研究協力・地域連携係へ連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、Webフォームにより提出	化学・生命分野 物理・情報分野 建築・都市分野 人文・社会科学分野 環境フィールド研究分野	プログラム毎に異なる	○	
29	公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団	2023年度ECOMO交通バリアフリー研究・活動助成	令和4年11月30日	必要	11月16日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、郵送にて提出	交通バリアフリーに関わる先進的な調査研究や技術の研究開発とし、以下のいずれかに該当する研究内容とします。 ●公共交通機関における移動のバリアフリー化に関わるもの ●公共交通機関に関連する建築物や道路等のバリアフリー化に関わるもの ●公共交通機関における移動のバリアフリーに関する教育や人材育成等に関わるもの	プログラム毎に異なる	×	
30	一般社団法人 日本溶接協会	2023年度 次世代を担う研究者助成事業	令和4年9月30日	必要	9月16日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、郵送にて提出	溶接・接合技術およびその周辺技術の研究とし、最先端な技術に限らず、産業の発展への貢献が大きい研究を主体的に進め、1年間で一定の成果が得られる見込みのあるものとします。ただし、国及び他の機関から助成を受けた研究、および企業との共同研究は除外します。	100万円	×	
32	公益財団法人 科学技術融合振興財団	2022年度助成金・補助金	令和4年10月15日	必要	9月30日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、郵送またはメールにて提出	課題A. シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究 課題B. ①情報技術、ネットワーク技術を応用したシミュレーション&ゲーミングによる学習用ソフトウェアの試作（学習用ソフトウェアを通じて行う青少年科学技術啓発活動） ②社会に役立つシリアスゲームの調査研究 ③エンタテインメントゲームに関する調査研究 課題C. シミュレーション&ゲーミングの先進的独創的な手法の研究	プログラム毎に異なる	×	
33	公益財団法人 スズキ財団	2022年度科学技術研究助成	令和4年9月30日	不要		全国の大学、大学院、高等専門学校または公共研究機関等に常勤する研究者の優れた研究に対し研究助成を行う	プログラム毎に異なる	×	

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
36	公益財団法人 スガウェザリング技術振興財団	令和4年度表彰・助成	令和4年10月31日	必要	10月17日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、郵送にて提出	自然環境における工業材料の腐食、退色などの劣化現象（ウェザリングという）について、加速試験等による寿命評価、劣化機構の解明、表面処理等による耐劣化性の向上など（ウェザリング技術と呼ぶ）に顕著な業績を上げた功労者の表彰又は、研究、試験の助成をすることにより、本分野の技術振興を図り、もってわが国の産業発展および国民福祉の増進に貢献することを目的とします。	プログラム毎に異なる	×	
37	一般財団法人 向科学技術振興財団	令和4年度研究助成金	令和4年9月30日	必要	9月30日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、申請フォームにて提出	物質の分離技術の分野における素材、技法の基礎研究に対する助成	150万円以下	×	間接費使用不可 類似内容で他の財団等から助成のある場合不可
38	公益財団法人 大倉和親記念財団	2022年度（第53回）大倉和親記念財団研究助成候補者の推薦	令和4年9月1日	必要	8月18日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類をサイボウズ掲示より入手学内決裁後、機構本部に提出	セラミックス（陶磁器、ガラス、セメント、耐火物、その他無機材料全般）の分野における研究	総額3850万円以内	×	各高専で取りまとめ後、機構本部に提出し、理事長名にて推薦
39	一般財団法人 民間都市開発推進機構	令和4年度都市再生研究助成事業	令和4年10月11日 12:00	不要		対象となる研究は、都市の再生・まちづくりに関する研究 ※狭義の都市計画、建築等の分野に限定せず、広範囲の専攻分野を対象とし、社会科学系、人文科学系の研究での応募も歓迎します。	最大200万円（最大100万円/年、2年間）	×	
40	一般社団法人 日本鉄鋼協会	第32回鉄鋼研究振興助成	令和4年8月22日 17:00	不要		鉄鋼および鉄鋼に関連する材料・プロセスに関する分野の学術及び技術の発展に寄与する研究。	総額100万円以上最大300万円を限度	×	
41	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	2022年度学術研究助成	令和4年10月11日 17:00	必要	9月27日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、電子申請フォームにて提出	米麦その他主要食糧等を原料とする食品に係る食品科学等の研究領域	プログラム毎に異なる	×	

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
42	公益財団法人 立石科学技術振興財団	2023年度研究助成および2023年度前期国際交流助成公募のご案内	プログラム毎に異なる	不要		エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進する研究に関する活動を支援する事業として、研究および国際交流への助成を行っています。	プログラム毎に異なる	×	
43	公益財団法人 中谷医工技術振興財団	次世代理系人材育成プログラム助成	令和4年11月20日	必要	11月4日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手 学内決裁後、郵送にて提出	主実施機関が地域拠点として他教育研究機関、科学系博物館等と連携して、理数系に優れた資質を持ち、理科への関心が高い中学生を、教育委員会の協力も得ながら地域で募集・選抜し、子どもたち一人ひとりの個性や特徴、多様な興味関心を汲み取って伸ばし、将来理系分野で活躍する科学的リテラシーの高い人材を育てるための体系的・組織的なプログラムに対し助成します。	年間最大500万円を最長5年間	×	
44	公益財団法人 日本板硝子材料工学助成会	令和5年度(第45回)研究助成候補者募集	令和4年11月18日	必要	11月4日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手 学内決裁後、郵送にて提出	主として、無機の固体材料並びに関連材料の科学と技術の研究。 例えば、ガラス・セラミックス等のバルク・薄膜あるいはナノレベルのハイブリッド構造で、フォトンクス、エレクトロニクス、医用、環境、省エネルギー、各種構造材等に用いる材料(複合材料を含む)に関する基礎研究および応用研究。(注:純粋な金属は含みません。)	総額4000万円程度(40件程度、1件120万円以下)	○	

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
46	一般財団法人 国土技術研究センター	2022年度（第24回）研究開発助成	令和4年10月31日	不要		①安全に安心して暮らせる国土の実現に寄与するもの ②人・もの・情報が効率的に通いあえる国土の実現に寄与するもの ③心豊かに暮らせる快適で美しい国土の実現に寄与するもの ④流域治水に関する研究 ⑤河川堤防等の信頼性評価に関する研究 ⑥社会潮流の変化に対応した道路ネットワークのあり方に関する研究 ⑦人中心の道路空間再構築に関する研究 ⑧人口減少社会における持続可能な都市の構築に関する研究 ⑨今後のあるべき建設生産システムに関する研究 ⑩社会資本の戦略的な維持管理に関する研究	単年度200万円以内 2年上限	×	
47	公益財団法人 油空圧機器技術振興財団	令和4年度研究助成金	令和4年10月31日	必要	10月17日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手 学内決裁後、郵送にて提出	油圧・空気圧機器（※）及びこれらの機器と周辺機器から構成される駆動システム、並びにこれを補完し、あるいはこれと併用する駆動システムの開発、生産、利用に関する技術の研究 （※）水圧・ガス圧をはじめとする流体圧機器を含みます。	100万円/件	○	42歳以下対象

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
48	公益財団法人 野口研究所	2022年度野口遵研究助成金	令和4年10月31日	必要	10月17日までに研究協力・地域連携係まで連絡 書類を左記URLより入手 学内決裁後、Webフォームにて提出	課題1：ライフサイエンスの進展に寄与する研究 疾患バイオロジーの探究、健康・医療に関する技術開発（医薬、診断、医療材料、医療機器など）、微生物・動植物を含めた生物機能解明、それを利用した産業応用（グリーンバイオ、ホワイトバイオを含む）に関する研究など 課題2：エネルギー・資源・環境の革新に寄与する新材料や新プロセスに関する研究 持続可能な地球環境・人類社会を実現するためのカーボンニュートラル推進、省・創エネルギー、再生可能エネルギー利用、およびエコシステムのための新素材開発、新プロセス開発、新分析・解析法など（電子材料や電子デバイスなども含む）	220万円/件	×	39歳以下対象
49	NICT	国際研究集会への助成	令和4年10月13日 午後5時	不要		集会開催の対象期間 令和5年4月1日から令和7年3月31日 （年度ごとに委託費を確定するため3月の開催についてはご相談ください）		×	
50	NICT	海外研究者招へいへの助成	令和4年10月27日			招へい開始期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日		×	
51	一般財団法人 持続性推進機構	2022年度全国高専ピッチフェクトリー	令和4年11月18日	不要		地域の「社会」課題の解決という目的を前面に出し、高専生が制作するピッチ動画をウェブサイトで公開し、それを全国の中小企業経営者らが閲覧するといった全体のスキームを継承するとともに、「オブザイヤー（金賞・銀賞）－賞状と副賞の贈呈」についても今年度実施いたします。			1チームは学生1～7名、担当教員1名 担当教員はチーム掛け持ち可、学生はチーム掛け持ち不可 1校からの参加チーム数の制限なし
31	パワーアカデミー	2022年度パワーアカデミー研究助成	令和4年8月22日	必要	8月8日までに研究協力・地域連携係まで連絡 書類を左記URLより入手 学内決裁後、メールにて提出	・パワーアカデミー研究マップに関連した独創的、先駆的、かつ、電気工学分野への波及効果が期待できる研究 ・パワーアカデミー研究マップに関連した電気工学分野の将来展開を見据えた研究	プログラム毎に異なる	×	

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
26	公益財団法人 栢森情報科学振興財団	2022年度助成金交付	令和4年8月31日	必要	8月17日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、メールまたは郵送にて提出	1. 情報科学に関する研究 2. 情報科学に関するフォーラム・シンポジウム等開催	プログラム毎に異なる	×	
45	一般社団法人 社会実装推進センター	企業と高専が共同講座を創設する際の補助事業	令和4年9月2日	必要	8月19日までに研究協力・地域連携係まで連絡	共同講座補助金（高等教育機関における共同講座創造支援事業費補助金）では、企業が大学・高専等の高等教育機関において、自社が必要とする専門性を有する人材の育成を図るための「共同講座」を設置する取組みを支援します。本補助金を通じ、企業の求める人材を高等教育機関において育成する環境を整備し、もって、産業界のニーズに即した人材育成の加速化を図ります。	補助率 1 / 2 補助上限額 3000万円	×	
34	公益社団法人 発明協会	令和5年度全国発明表彰	令和4年8月31日	必要	8月17日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、郵送により提出	本発明表彰は、皇室から毎年御下賜金を拝受し、我が国における発明等の完成者並びに発明の実施及び奨励に関し、功績のあった方々を顕彰することにより、科学技術の向上及び産業の発展に寄与することを目的として行っているものです。	プログラム毎に異なる	×	
15	公益財団法人 矢崎科学技術振興財団	2022 (R4)年度研究助成	令和4年8月31日	必要	8月17日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、Webシステムにて提出	材料・デバイス、環境・バイオサイエンス、エネルギー・情報通信に関する分野	200万円以内/ 若手は100万円以内	×	
24	第一三共株式会社	TaNeDS	令和4年8月1日	不要		A.創薬テクノロジー研究タイプ B.疾患領域別の研究タイプ C.第一三共のモダリティ技術活用タイプ	プログラム毎に異なる	×	
20	公益財団法人 岩谷直治記念財団	第49回(2022年度)岩谷科学技術研究助成	令和4年7月31日	必要	7月15日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、郵送にて提出	①再生可能エネルギー源 ②将来に期待される燃料 ③エネルギーの変換、輸送、利用の高効率化、合理化など ④エネルギー材料 ⑤低温の利用 ⑥環境保全、地球温暖化防止、エネルギー利用上の安全性	最大200万円	×	

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
35	東京エレクトロン株式会社	2022年度共同研究公募制度	令和4年8月12日	不要		2018年に更なるオープンイノベーションを推進する取り組みとして、弊社の基本理念と事業領域である半導体・FPD（フラットパネルディスプレイ）の製造技術やデバイス・ウェーハ製造プロセスのシーズ技術、ニーズ技術に適合する研究テーマを、日本国内の研究機関に所属する研究者を対象に公開募集する制度を創設いたしました。	プログラム毎に異なる	×	
25	公益財団法人 天田財団	2022年（令和4年）度天田財団助成	令和4年7月31日	必要	7月15日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、Webシステムにて提出	金属等（※1）の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に必要な技術（※2）の調査・研究に対する助成及びその国際交流の助成 ※1）マルチマテリアル（金属、プラスチック、CFRP、セラミックス、複合材料等）です。 ※2）加工に間接的に影響を及ぼす技術（例：センシング、IoT、AI、CPS、計測）等も含まれます。	プログラム毎に異なる	×	
10	公益財団法人 発酵研究所	2023年度研究助成	令和4年7月31日	必要	令和4年7月15日までに研究協力・地域連携係へ連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、Web申請フォームにより提出	微生物（細菌、アーキア、菌類、微細藻類）の研究の進歩発展に寄与することを目的とする。 ・一般研究助成 ・大型研究助成 ・若手研究者助成 ・研究室助成 ・学会・研究部会助成	プログラム毎に異なる	×	助成期間はプログラム毎に異なる
28	公益財団法人 中部科学技術センター	第33回 令和4年度 人工知能研究助成	令和4年7月29日	必要	7月15日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、郵送にて提出	人工知能及び関連技術分野（人工知能を活用した情報処理技術、情報通信技術等）の高度化に関する調査、研究及び開発	50万円	×	

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
22	一般社団法人 日本電気協会	第67回（令和4年度）澁澤賞	令和4年7月4日	必要	6月20日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手 学内決裁後、郵送にて提出	本賞は、電気の保安、信頼度の向上に関する様々な分野で顕著な功績をあげた方、長年にわたり地道に業績をあげた方を広く顕彰する制度である。 候補者の資格として、下記(1)～(5)のいずれかに該当すること。 (1)発明・工夫、設計・施工 (2)電気技術規格・基準の制改定 (3)学術研究 (4)人材育成 (5)長年にわたる電気保安への功労	賞状贈呈	×	

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
13	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）	輝く女性研究者賞（ジュンアシダ賞）	令和4年6月30日	必要	締切二週間前まで研究協力・地域連携係へ学内決裁後、Webフォームより提出	幅広い女性研究者の活躍促進に向け、大学や研究所の基礎研究部門だけでなく、企業における開発プロジェクトをはじめとするエンジニアリング、製品開発、及び多人数が関わった研究開発に携わる研究者や、女性研究者の活躍推進に取り組む機関など、広い分野からの応募を歓迎いたします。	100万円	×	女性研究者部門と機関部門の2部門で募集
11	公益財団法人立石科学技術振興財団	2022年度国際交流(後期)、国際会議開催助成公募	令和4年6月30日	必要	令和4年6月16日までに研究協力・地域連携係へ連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、電子申請により提出	エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究活動・国際会議	プログラム毎に異なる	×	
17	JST	令和4年度SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム	令和4年6月8日	必要	5月25日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、e-Radにて提出	RISTEXでは、SDGsの達成に向けて、複合的で幅広いテーマの地域課題に対して既存技術シーズを活用した即効性のあるソリューション創出やソリューションの他地域展開を目指す研究開発プログラムとして、2019年度より「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（SOLVE for SDGs）」を実施しています。 なお、社会的孤立・孤独はSDGsの重要な観点の一つであることから、SOLVE for SDGsの下で特別枠（社会的孤立枠）として、「社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築」を2021年度に設定しました。	プログラム毎に異なる	×	
16	公益財団法人テルモ生命科学振興財団	2022年度研究開発助成金	令和4年5月31日	必要	6月16日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手学内決裁後、Webシステムにて提出	(1) 医療機器研究 (2) 再生医療研究 (3) バイオマテリアル研究 (4) 生理活性物質・生体成分研究 (5) 予防医療研究 (6) 医療安全・レギュラトリーサイエンスの研究 (7) 看護の研究	プログラム毎に異なる	×	

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
14	公益財団法人 鉄鋼環境基金	第43回(2022年度)環境助成研究	令和4年5月31日	必要	5月17日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手 学内決裁後、メールにて提出	鉄鋼製造に関連する環境保全技術課題に関する研究	150万円/若手は100万円	×	
12	公益財団法人 マツダ財団	2022年度 マツダ研究助成	令和4年5月31日	必要	令和4年5月18日までに研究協力・地域連携係へ連絡書類を左記URLより入手 学内決裁後、電子申請により提出	助成の対象は、現在ならびに将来にわたって解決が求められている科学技術に関する基礎研究および応用研究とします。特に次のような研究分野の先進的・独創的な研究を期待します。 (1) 機械に係わる研究分野 (2) 電子・情報に係わる研究分野 (3) 化学系材料に係わる研究分野 (4) 物理系材料に係わる研究分野 ・上記各研究分野において、循環・省資源に寄与する研究を歓迎します	100万円 / 1件 研究助成奨励賞:総額200万円 副賞:50万円	×	助成期間は1年または2年
18	公益財団法人げんでんふれあい茨城財団	第25回げんでん科学技術振興事業	令和4年5月20日	必要	5月6日までに研究協力・地域連携係まで連絡書類を左記URLより入手 学内決裁後、郵送またはメールにて提出	(1) 小学校・中学校の部においては、理科を対象とする。 (2) 高等学校の部においては、物理、化学、生物、地学、工業、農業、水産及び自然科学に関するものを対象とする。 ※なお、同じテーマでの継続については、発展性のある研究計画であること。 (3) 調査・研究は、単一のテーマについて行うこととします。 ※複数の調査・研究テーマが含まれる総括的な調査・研究は対象外となります。	10万円	×	
3	一般社団法人産業環境管理協会	リサイクル技術開発本多賞(第27回)	令和4年5月23日	必要	令和4年5月10日までに研究協力・地域連携係へ連絡書類を左記URLより入手 学内決裁後、郵送にて提出	① 当協会事業における印刷物 ② 各種学会誌・論文誌、各種学会や研究発表会の講演論文集 ③ 各種技術雑誌、機関誌 ④ 企業の研究報告や技術報告 ⑤ 3Rに関連した特許公報 ⑥ その他3Rに関する著作物、単刊本	表彰+副賞50万円	×	

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
1	公益財団法人 永守財団	研究助成 2022	令和4年5月15日	必要	締切2週間前までに研究協力・地域連携係へ連絡書類を左記URLより入手 学内決裁後、メール及び郵送により提出	モータ、アクチュエータ、発電機及びそれらの制御方法、その応用技術等に関連する技術分野	100万円 / 1件	×	概ね39歳以下の若手研究者を対象
4	公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団	2022年度研究助成プログラム「水や水環境」に関する学術研究助成公募	令和4年4月22日	必要	令和4年4月8日までに研究協力・地域連携係へ連絡 学内決裁後、申請者本人がメールにて提出	自然科学・技術(1) 自然科学・技術(2) 人文・社会科学 特別テーマ【水を究める】 萌芽的研究	テーマにより異なる 100/150万円	×	
6	日本原子力研究開発機構	令和4年度課題解決型廃炉研究プログラム	令和4年5月6日	必要	令和4年4月20日までに研究協力・地域連携係へ連絡 学内決裁後、e-Radにより申請	本プログラムでは、廃炉基盤研究開発課題、潜在的な廃炉課題など、1F廃炉を着実に進展させるためのニーズに基づいた研究開発の推進により課題解決を目指すため、JAEAが現場のニーズ、6つの重要研究開発課題、大学等が有する研究シーズ等を俯瞰的に分析して作成した「基礎・基盤研究の全体マップ」の中で、「基礎基盤研究の追求により課題解決につながる（青色評価）」と評価された課題の解決に資する提案を募集します。	4,000万円以内（1件当たり年間） （間接経費を含む）	×	研究の遂行に必要な博士課程学生を積極的にRA等として雇用
7	株式会社リバネス	第56回リバネス研究費	プログラム毎に異なる （令和4年3月18日、 令和4年4月30日）	不要	左記URLの応募フォームから申請	プログラム毎に異なる	研究費50万円	×	
5	中小企業庁	令和4年度予算「成長型中小企業等研究開発支援事業」	令和4年4月21日	必要	令和4年4月8日までに研究協力・地域連携係へ連絡 学内決裁後、e-Radにより申請	中小企業者等が、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けて、大学・公設試等と連携して行う研究開発等が支援対象となります。具体的には、「中小企業の特定期ものづくり基盤技術及びサービスの高度化等に関する指針」（以下、「高度化指針」という。）を踏まえた研究開発等が支援対象になります。	枠により異なる	×	中小企業者等を中心とした共同体を構成する必要がある

・民間財団等研究助成

No.	実施機関	研究助成等名称	実施機関締切	学内決裁	学内締切	募集分野等	助成金額	本校における過去の採択例	備考
2	一般財団法人放送大学 教育振興会	2022年度放送大学教育振興会 助成金	令和4年4月22日	必要	令和4年4月8日までに研究 協力・地域連携係へ連絡 書類を左記URLより入手 学内決裁後、学校で取りま とめて提出	(1) 放送、インターネット等を利用した高等 教育に関し、その効果的な教育内容、教育方 法、教材、教育システム等に係る 研究開発事 業 (2) 放送、インターネット等を利用した高等 教育に関し、その国外の教育研究機関等への普 及・協力に係る事業及び国際的な交流に係る事 業	上限150万円	×	
8	株式会社リバネス	海にかかわるあらゆる研究 テーマ支援する マリンチャ レンジプログラム2022 研究 コーチ	令和4年4月6日	不要	左記URLの応募フォームか ら申請	株式会社リバネスでは、日本財団、JASTOと共 に、海・水産分野・水環境にかかわるあらゆる 研究に挑戦する中高生研究者を対象に、研究 コーチとしてサポートを行ってくれる、若手研 究者の方を募集しています。本活動での実績 は、教育研究業績としての活用が可能です。中 高生の研究指導に興味のある若手研究者のみな さま、ぜひお申し込みください。	4000円/回・ チーム	×	参加者は「中等教育 研究指導員」認定